

# ボランティア情報

## カタチを変えてつながりたい! ~円山小4年生が“手紙”で交流!!~

発行

社会福祉法人  
福井市社会福祉協議会  
〒910-0018  
福井市田原1丁目13-6  
フェニックス・プラザ1階  
TEL (0776)22-0022/FAX 26-9109  
HP <http://www.fukuic-shakyo.jp>  
E-mail [mag@fukuic-shakyo.jp](mailto:mag@fukuic-shakyo.jp)



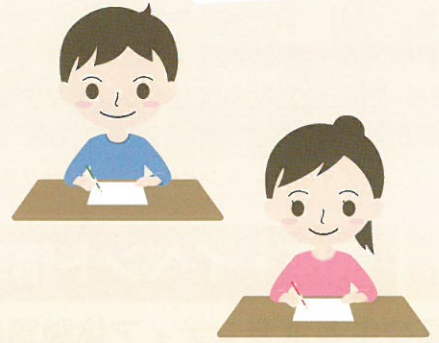
福井市社会福祉協議会

検索

この情報紙は共同募金の助成を受けて作製しています



No.269  
2020年10月1日発行



▲より多くの方に見てもらいたいと、公民館へお届けしました。

毎年、円山小学校4年生の総合学習の時間では、「つくろう みんなにやさしい町」をテーマとした福祉学習を進めています。今年7月には、高齢者の理解と接し方を学ぶため、円山地区社会福祉協議会や地域包括支援センターの協力で、高齢者擬似体験や認知症サポーター養成講座を行いました。

例年なら、この後クラス毎に円山地区自治会型デイホーム「まどかサロン」を訪問し、おしゃべりやゲームを通して地域の高齢者と交流をしています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染予防のため交流会が中止に。「行きたかった!」と残念がる子どもたちでしたが、できることをしようと話し合いをした結果、「手紙を書きたい」「何か作っておじいちゃん、おばあちゃんを喜ばせたい」などの声が挙がりました。そこで、一人ひとり自分の似顔絵と、い

ま頑張っていることや夏休みの思い出、体験を通して思ったことなどを手紙に書き、折り紙で飾り付けをして模造紙にまとめました。完成した手紙は、公民館や「まどかサロン」の会場に掲示していただきました。

公民館で手紙をご覧になった方は「子どもたちに会えないのは寂しいけれど、気持ちが入められていて嬉しかった」と喜んでいました。

円山小学校の先生は、「子どもたちは、お年寄りを大事にしたいという思いをもっている。学習を通して、自分の事として学びを深め、今できることで交流ができれば嬉しい」と話していました。

今後、年内には「えがお新聞」を作り、円山地区社協の福祉委員を通じて、75歳以上の高齢者にお届けする予定です。